

3/21

国道34号の拡幅工事完成を記念してサクラを植樹



要望活動を続けてきた、国道34号大村拡幅工事（水主町交差点～玖島中学校入口交差点間の延長1.5km）が完成し、植樹式が行われました。

この日は、松本市長、里脇市議会議長をはじめ、道守長崎会議が募集した大村・マイツリー会員の皆さんなどが参加して、ヤエザクラの一種の「天の川」55本を側道に植樹し、完成を祝いました。

今後、拡幅事業で作られた空間をまちづくりに活かすために、市のシンボルとなるような道路空間を形成していきます。

3/24

市立竹松幼稚園・保育所が閉園・閉所式



当日は、在園児、保護者、関係の皆さんと一緒に想い出をふり返り、名残を惜しまました。

幼保連携型の認定こども園としての新たな教育・保育施設の設置を目指して、市立竹松幼稚園と市立竹松保育所が、4月から認定こども園として社会福祉法人カメリアが運営するくじら保育園に移行し開設しました。

このため、3月24日に竹松幼稚園、29日に竹松保育所が閉園（閉所）しました。昭和32年に開園した竹松幼稚園は、52年間で4,838人の修了児を、また昭和42年に開所した竹松保育所では、42年間で480人の園児を送り出しました。

3/27

エコごみ収集車出発式



二酸化炭素などの排出を抑える環境に配慮したエコハイブリッドのごみ収集車1台を清掃センターに導入し、出発式を行いました。

このごみ収集車は、アイドリングストップ機能や加速時には電気モーターがエンジンアシストすることで、地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を従来の車輛より30%削減することができまます。

自治体への導入は九州初で、市では、今後も低公害・地球温暖化防止のために導入を進めていく予定です。

4/1

水道局に料金センターを開設



上下水道の事業の経営健全化・効率化、市民サービスの向上を目指し、これまで市で行っていた受付・検針・滞納整理業務などを民間に委託し、この日から水道局庁舎1階に料金センターを開設しオープンングセレモニーが行われました。料金業務の包括委託は、県内では初めてで、業務を受託したフジ地中情報は九州では当市が初の受注で、社員21人中18人を市内から採用しました。

開設後は、業務時間が午前8時30分～午後6時まで延長され、これまで培ってきた漏水調査業務の経験を活かした市民サービスの向上が期待されます。